

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

http://www.teiju.or.jp/



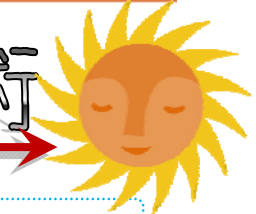
しまね

いきいきねっと

2014  
2月号

サイト

# 島根いきいき広場 活用術



昨年10月に県内6カ所です「島根いきいき広場」から共感の輪を広げるセミナーを行いました。

その後、リニューアルしたサイト「島根いきいき広場」活用できていますか？情報を見るだけでなく、情報を載せてみませんか？団体情報やイベント情報の登録、活動報告の入力をするには団体としてログインIDが必要となります。

登録がまだの団体は、**新規団体登録** ボタンをクリックし、入力していきます。

既にIDをお持ちの団体は**ログインID**と**パスワード**の入力後、**ログイン** ボタンをクリックします。

ログインID・パスワードはきちんと管理されていますか？  
団体の登録がありますか？

検索してみて自分の団体がどのように見えているかチェックしましょう！

団体を知りたいバナーから、キーワード検索に団体の名前の一部を入力して「この条件で検索する」ボタンをクリック！  
検索結果にダブリがないかもチェックしましょう！

新規団体登録

先にCANPANの登録がある場合は**CANPANから取得** ボタンを押すと入力が省力化できます。

イベント情報登録  
ボランティア登録

ログイン後 登録が行なえます。ボランティア募集も同時にできます。

イベント実施

活動報告



活動報告はイベント情報の変更で行います。イベント・活動一覧からイベントを表示し、**変更** ボタンを押下。イベント概要の報告欄に実施内容を入力します。確認して、**変更完了** します。

イベント・活動情報

操作メニュー

変更 削除

リニューアル前は、定住財団でも、団体に代わってイベント登録を行っていましたが、現在は控えていただいております。

団体自らイベントや団体情報を発信していただくことが目的です。

団体が自ら登録することにより、**活動履歴**が自動的に残り、事業終了後の**報告**もでき、ホームページ代わりにとなり、活動の様子がよりよく県民の皆さんに理解され、広がっていきます。

また、**写真**についても、解像度が高くても**自動的にリサイズ**されるようになったため、掲載が容易になりました(最大3枚まで可)。

さらに、**トップページ新着PICKUP**にも写真が自動表示される機能が追加されたため、広報が**効果的**にできるようになりました。**イベントカレンダー**にも自動的に表示されます。

ぜひご活用ください。

NICE!



## 助成金情報

<p>NHK厚生文化事業団 第26回わかば基金 期 ~ 3 / 31 (月)</p>	<p>地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるため、「支援金部門」「リサイクルパソコン部門」「東日本大震災復興支援部門」の3つの方法で、ボランティアグループやNPOの活動を応援します。  <b>対</b> 各部門ごとに対象が異なりますので、詳細は募集要項でご確認ください。  <b>金</b> [支援金部門]1グループ最高100万円 [リサイクルパソコン部門]ノートパソコン総数50台(1グループ3台まで) [東日本大震災復興支援部門]1グループ最高100万円  <b>問</b> (社福)NHK厚生文化事業団「わかば基金」係          Tel:03-3476-5955 <a href="http://www.npwo.or.jp/">http://www.npwo.or.jp/</a></p>
<p>(公財)区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター 期 ~ 3 / 31 (月)</p>	<p>街なかにおける市街地整備を行うための初動期の活動や、中心市街地活性化に資する取組みを自発的に行う各種団体等の活動・事業に対する助成です。  <b>対</b> まちづくりに寄与する活動・事業等を行う協議会やNPO法人等  <b>金</b> 1件あたり限度額100万円  <b>問</b> (公財)区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター          Tel:03-3230-8477 <a href="http://www.sokusin.or.jp/machinaka/">http://www.sokusin.or.jp/machinaka/</a></p>
<p>(公財)高原環境財団 緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業 期 ~ 5 / 23 (金)</p>	<p>自然環境(緑・水・大気)の破壊が急速に進んでいる現代、環境の悪化防止と再生を目指して緑化を推進することにより、ヒートアイランド対策の一環となることを目的とした助成です。  <b>対</b> 日本国内に所在する法人(助成事業を行う公益法人を除く)、地域活動団体。  <b>金</b> 一件あたり、助成対象費用の100分の70、または200万円のいずれか少ない額  <b>問</b> (公財)高原環境財団 Tel:03-3449-8684  <a href="http://takahara-env.or.jp/">http://takahara-env.or.jp/</a></p>



## イベント情報

<p>島根いのちの電話「金子みすゞの心を歌うトーク&amp;コンサート」 日 3 / 1 (土) 14:00~15:45</p>	<p>歌と語りと朗読と 歌手・作曲家のちひろさんをお迎えし、金子みすゞの生い立ちにも迫りながら、詩の背景を優しく心に語りかけます。世代を超えて心に響く温かなふれあいコンサートです。  <b>場</b> 松江市総合福祉センター(松江市千鳥町70) <b>金</b> 500円(小・中学生200円)  <b>問</b> 社会福祉法人 島根いのちの電話 Tel:0852-32-5985</p>
<p>企業の社会貢献活動を考える集い 日 3 / 7 (金) 13:00~16:30</p>	<p>(1)事例発表「地域密着型企業ボランティア活動の実践」(2)講演「企業と社会福祉協議会ボランティアセンター等との連携の必要性和具体的な展開方策」          講師:早瀬 昇氏(特定非営利活動法人日本NPOセンター 代表理事)  <b>場</b> いきいきプラザ島根403研修室(松江市東津田町1741-3) <b>金</b> 500円  <b>問</b> 島根県社会福祉協議会地域福祉部 Tel:0852-32-5955</p>
<p>日本ミツバチを愛する人の集い 日 3 / 8 (土) 10:00~14:00</p>	<p>日本ミツバチを飼ってみようと思う人、すでに飼っている人、いろいろなやり方があります。互いの情報を交換して、より効果的に飼う集いを企画しました。巣箱の構造、分封群の捕獲方法、スムシ対策、越冬方法、盗蜜対策、等々お話ししましょう。  <b>場</b> 峯寺遊山荘(雲南市三刀屋町給下1586-1) <b>金</b> 2,000円(地元食材での昼食、蜂蜜入りデザート、喫茶、保険料含む) <b>定</b> 30名  <b>問</b> 峯寺遊山荘 Tel:0854-45-5800</p>
<p>健康づくり講演会「認知症の予防」 日 3 / 16 (日) 13:30~15:30</p>	<p>講師:山下 一也氏(島根県立大学出雲キャンパス副学長)  <b>場</b> いわみーる1階 101研修室(浜田市野原町1826-1) <b>金</b> 無料  <b>問</b> NPO法人はとぼっぽ Tel:0855-25-0160</p>



## 募集情報

<p>平成26年度 島根県点訳・音訳(朗読)ボランティア養成講習会受講生募集 期 ~ 5 / 16 (金)</p>	<p>視覚障がい者情報提供施設「ライトハウスライブラリー」では、視覚障がい者の読書環境・情報環境の充実に目的に、点字図書・録音図書の制作・貸出をしています。その制作に携わっていただくボランティアの養成講座を開催します。  <b>場</b> ライトハウスライブラリー(松江市南田町141-10) <b>金</b> 無料(テキスト実費)  <b>日</b> 点字コースおよび音訳コース:H26.6月~H27.1月(全25回)          デジタル編集コース:H26.6月~H27.7月(全5回)いずれも火曜13:30~16:00  <b>問</b> 視覚障がい者情報提供施設(点字図書館)ライトハウスライブラリー          Tel:0852-24-8169 <a href="http://www.lighthouse-lib.jp/">http://www.lighthouse-lib.jp/</a></p>
---	---

アイコンの説明

日 日にち
 時 時間
 場 場所
 定 定員
 費 費用
 主 主催
 期 期日
 金 助成金額
 対 対象
 問 問合せ先

# お知らせ

地域ポータルサイト「だんだん」関連ニュース



## CANPAN情報開示レベルの基準が厳しくなっています

昨年12月CANPANの情報開示レベル( )取得基準が変更になったため、以前5だった認証団体も4になっている場合があります。

情報開示レベル5を取得する為には収支報告・貸借対照表の入力において、すべての内訳データに入力が求められるようになりました。(データが無い場合でも必ず「0」を入力しておいてください)

また、変更になった点としては、添付書類についても、決算書類過去3年度分の入力が可能になりました。

年度末のふりかえりに合わせて、CANPAN情報も一緒に見直しいただき、最新の情報に更新いただきますようお願いいたします。

詳細につきましては、CANPANの「? ヘルプ」-[情報開示レベル( )と認証マークについて]、「よくある質問」-[団体情報]に、詳しく掲載されています。

の数が減ったと思われる団体は、ぜひご覧いただくことをお勧めします。



しまね田舎ツーリズム「中間組織」育成支援研修会

## しまね田舎ツーリズムの展開における中間支援組織の意義と役割

地域内で連携して民泊や民宿、体験施設などの確保やプログラムを提供する「ツーリズム」の運営には、利用者と受入側をつなぐ窓口や、行政や関係機関と連携する「中間支援組織」が不可欠な存在です。この中間支援の役割を担う各地の「地域協議会」をはじめとした関係者が集い、情報交換を行うとともに、実践者等の連携・ネットワーク化への課題検討を行います。

### 主な内容

- ・講義「自然・農業体験型観光と地域の担い手連携」  
講師：山口成美氏(長崎県：大村夢ファーム代表取締役・大村市グリーンツーリズム協議会会長)
- ・地域協議会等から活動状況報告
- ・意見交換会

参加費  
無料

### 対象

地域協議会に関わる人、組織化等の検討を進める地域など関心のある方もぜひご参加ください。

### 日程・会場

3月5日(水) 13:30~16:30 (受付13:00)

### お問い合わせ

ふるさと島根定住財団

松江事務局(担当:梶谷) TEL:0852-28-0690

石見事務所(担当:河野) TEL:0855-25-1600



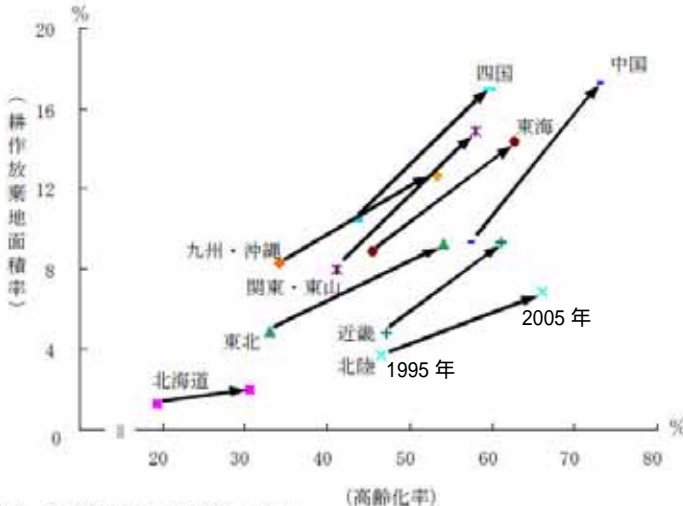
## 数字から見るしまねの課題

Vol.8

22.3%

= 島根県の耕作放棄地面積率(2010年)  
【参考】全国:11.0%

図 耕作放棄地面積率と高齢化率の関係(農業地域別、1995~2005年)



資料：農林水産省「農林業センサス」  
注：東山とは、山梨県、長野県

\* 耕作放棄地面積率 = 耕作放棄地面積 / (経営耕地面積 + 耕作放棄地面積) × 100

## 耕作放棄地と地域

「耕作放棄地」とは、「以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地」(農林業センサスによる)と統計上定義されています。

特に中国地方は、左のグラフからも高齢化が進むほど、耕作放棄地面積率が増加の傾向にあることが判ります。

さらに最近(2010年)のデータから算出すると島根県の耕作放棄地面積率は22.3%となっており、全国平均の11%を大きく上回っています。

一方で、日本の食料自給率は主要先進国中で最も低い水準です。今後も国際的食糧事情が不安定になる中、耕作放棄地の有効利用とその発生予防が重要な課題となっています。

地域の様々な立場の人たちが一丸となって立ち向かわねばならない課題のひとつと言えます。

# 島根で 頑張る人

## 地域づくりのヒントは 海外にあった

近年、「地域活性化」や「地域再生」という言葉がよく聞かれ、住民が主体となって地域づくりを行うことが求められている。日高さんも、そんな活動に取り組む一人だ。しかし、なぜ「国際交流」なのか、その先には何があったのか。

1989年、瑞穂アジア塾を立ち上げるきっかけとなったタイの山岳民族の村で見た光景。そこには、貧しい暮らしがあり、生活改善が急務だった。「何とかしないと」と、帰国後すぐに仲間と団体を立ち上げた。福祉などのノウハウを学び自国へ持ち帰ってもらうため、研修生としてアジア諸国の若者を受け入れる事業を始めた。最初に邑南町を訪れたのは、スリランカからの男性だった。福祉施設で研修をしながら地域の人たちに母国の話をしてくれた。日高さんにとって、最も印象に残ったのが「自分の故郷では、道路が壊れると住民たちで直します」という彼の言葉だった。聞いた瞬間に自分が幼かった頃を思い出したという。地区の環境保全、生活改善や健康維持、教育など、地域で困ったことがあれば自分たちで知恵を持ち寄り、学び合い、解決してきた大人たちがいた。貧しかったけれど皆がいきいきしていた。そこには、住民が主体の地域の姿が

あった。「理想の地域づくりは、これだ」と気づかせてくれた彼の言葉は、今でも活動の基盤となっている。団体を立ち上げた翌年、メンバーは実際にスリランカへ出向き、現場を目の当たりにしている。

地道に研修生の受け入れや視察を重ね、今ではベトナムやミャンマーなど、アジア諸国の行政職員が数年に渡り訪れ、農業や地域観光に関するノウハウを学ぶようになった。また、活動は地域の文化や伝統技術の保存へと広がっている。それは、地域における発展は、昔からある地域資源を、地域の人々が広げ、回し続けていくことだと交流を通じて学んだからだ。

瑞穂アジア塾は、都市部に事務所を構える団体でも、法人化した大きな団体でもない。しかし、活動は絶え間なく23年間続いている。「農村地区に住んでいる人々同士が交流することに大きな意味があった」と日高さんはふりかえる。同じような地域に暮らしているからこそ、互いに学びあえる。そして、互いに必要としているからこそ、活動は続き自然と広がっていく。地域再生や地域づくりをどのように進めていくのかを日本中で模索しているなか、そのヒントを日本の中だけでなく世界を介してつかもうとしている。本当につながるべき相手であるなら、時として国をも越えることがあるのだ。(Y)



瑞穂アジア塾  
代表 日高 久志 さん

1954年1月 邑南町(旧瑞穂町)生まれ。2012年3月まで邑南町役場で介護保険をはじめ福祉行政全般に携わる。1980年ころから瑞穂文化研究会の一員として埋蔵文化財の分布調査に関わったことで地域の文化と歴史に興味を持つようになる。その後、その仲間とともにネパール、タイ北部で山岳民族の生活向上に取り組んでいた知人を訪ねたことがきっかけで1990年に瑞穂アジア塾を設立した。

### 団体の今までの主な活動

設立直後から23年間に渡り毎年のようにアジア諸国(スリランカ、タイ、ソロモン諸島、ミャンマー、ベトナム等)から研修生を受け入れ、農業や福祉の研修を行うほか、ベトナムやミャンマーの行政と互いの視察や交流を通して、農業や地域活性化のノウハウの提供やサポートを行う。

## スタッフ後記

先日開催したNPOマネジメントセミナーのなかで、「認定NPO法人あしづえ」の園山土筆 理事長と有田美由樹 事務局長に事業報告書のお話をさせていただきました。「今の報告書じゃだめだ」と気付いたときから、スタッフ同士でのコミュニケーションの取り方が変わったり、事務作業の効率化を考え実行するようになったりと、組織自体のあり方が明らかに変化していました。どんなに忙しくても、事業ごとにすぐ振り返りをみんなでやる。そんな日々の積み重ねの上に報告書が作られていました。毎年「作品」のように報告書を作るというあしづえの皆さん。その言葉がとても印象的でした。(Y)

## お知らせ 新着図書のご紹介

こうして僕は世界を変えるために

一步を踏み出した(鬼丸昌也著)

学生時代、たった一人からNGOを作った青年。情熱の社会起業家ストーリー。一青窈さん、福島正伸さんなどが推薦。



[H26.1.31 現在]

県内NPO法人数・・・268  
(内 認定NPO法人数・・・4、仮認定NPO法人数・・・2)  
新設NPO法人数・・・1 (H26.1月分)  
しまね社会貢献基金登録団体数・・・56  
だんだん認証レベル取得団体数・・・37 (内 レベル2・・・25)

松江  
事務局

〒690-0003  
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階  
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692  
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034  
浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階  
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内  
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630  
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見  
事務所